

運動時の眼底血流の応答とその調節因子

池村, 司

<https://doi.org/10.15017/1441007>

出版情報：九州大学, 2013, 博士（人間環境学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

論文審査の結果の要旨

本論文は、運動中の眼底血流の応答と調節因子を検討した。眼底血流は、運動の様式と強度および環境温の変化によって影響を受けること、さらに血圧および動脈血 CO₂ 分圧の変化も反映することを明らかにした。また、運動に伴う長期的な血圧変動に対する静的な自動能は、網膜循環においてはある程度機能するが、短期の血流調節に貢献する動的な自動能は眼底血流の調節には十分には機能しないことを新たな知見として得た。長期的な灌流圧変化に対する血流調節には、短期間で素早く機能する調節因子（筋原性因子）よりも、比較的長時間で機能する因子（神経性や代謝性因子）の方が強く貢献することを示唆した。

これらの知見は、動的および静的運動時の眼底血流の応答およびその調節因子に関する重要な知見を得た価値ある業績であると認められる。よって、本論文は博士（人間環境学）の学位に値するものと認める。